

きん  
らり



代表取締役  
貴志昌伸氏

総務部  
貴志愛氏

～快適なオフィスライフをお約束します～



〈本社ビル（和歌山市十三番丁）〉



〈フリーアドレスを導入している事務所内〉

**株 式 会 社 貴 志**

Company Profile	代表者	貴志昌伸 代表取締役
	設立	昭和24年2月
	事業内容	オフィス用品・OA機器・測量機器等の販売・レンタル、各種機器メンテナンス、コピーサービス、人材派遣・アウトソーシング等
	所在地	(本社)〒640-8503 和歌山市十三番丁12番地 (橋本営業所)〒648-0073 橋本市市脇4丁目175-11
	T E L	073-431-5131(本社代表)

最新のOA機器や多種多様なオフィス家具・用品を取り揃え、“OFFICE WORK”のプロとして快適なオフィス空間づくりをトータルプロデュースする株式会社貴志。

OA機器やオフィス家具の販売以外にも、建設・土木・測量や環境データ収集に関わる専門機器の取扱いや官公庁などを対象とする人材派遣・アウトソーシングなど幅広く事業展開されています。

今回、代表取締役 貴志昌伸氏（議員／小売・卸商業部会 副部長）に、創業のきっかけ、事業への想い、地元和歌山への想いなどについてお話いただきました。

〈“青写真”からコピー機へ〉

戦後、満州から引き上げてきた祖父 貴志満二は一級建築士として和歌山市内の建設会社に勤めており、その当時、設計図面の複写は感光紙を用いた“青写真”が主流でした。また、大型で専用設備が必要となる青焼き機を持たない会社が多く、外注が一般的でした。祖父の勤める会社も例にもれず他社に依頼していましたが、将来、この複写サービスの需要が高まると見込み、独立することを決意したそうです。

1949年2月に複写サービスを主とする「貴志青写真工業所」を立ち上げ、その後、ほどなくして登場した小型の青焼き機（小型湿式ジアゾ複写機）の販売も始めました。しかし、建設業界だけでなく一般事務用としても広く普及したジアゾ複写機は、現在のコピー機・複合機の基礎技術を持つPPC複写機の誕生によりその立場を明け渡すこととなりました。現在、皆さんのオフィスにあるコピー機や複合機のほとんどがこのPPC複写機となります。低コストで大型図面を複写できたジアゾ複写機は、建設業界において長く利用されてきましたが、2007年に製造が終了し、その歴史に幕を閉じました。

青写真という複写サービスから始まった当社ですが、現在は“OFFICE WORK”のプロとして複写機をはじめとするパソコンなどOA機器だけでなく数多くのオフィス用品も取り扱い、心地よいビジネス空間が作れるようお客様の声を丁寧に聞きながらサポートしてまいります。

〈時代に沿ったオフィス環境づくり〉

大学卒業後、将来のことを考えて事務機器（コピー機、複合機）等を製造する大手精密機器メーカーの販売会社に入社した私は、新規開拓のためどぶ板営業いわゆる飛び込み営業に明け暮れる日々を送っていました。そして、東京や大阪で4年ほど修行した後和歌山へ戻りました。

祖父から父 貴志宣昭（現 取締役会長）へと受け継がれた当社を私が受け継いだのは35歳の時でした。当時は思い悩むことも多く、今思えば、受け継ぐのが少し早すぎたようにも思います。新しいことに挑戦したいという気持ちもありましたが、受け継いだ事業を持続させていくことがまずは重要と考え、今日までやってまいりました。会社の基盤をしっかりと固めてくれたこと、負債のない状態での事業引継ぎであったことが心強い材料であったと思っており、会長である父には大変感謝しています。

近年、オフィス環境は大きく様変わりをしてきています。ITが進んだ2000年代には固定席をもたないフリーアドレスが注目を浴び、従来の島型対向式とは異なるスタイルが普及し始めました。最近ではオフィスデザインにこだわる企業も増えており、色調にメリハリを持たせたカフェを思わせるようなオフィスも人気となっています。魅力的なオフィス環境づくりは企業ブランディングにも繋がるため、多くの企業で採用されています。当社でも2014年の本社移転を機にフリーアドレ

スを導入し、オフィス内にソファを設置するなど快適な環境づくりに取り組んでいます。総務部などは固定席を設けていますが、営業部など配席にこだわらない部署では週に一度のくじ引きで席を決めることにしています。

〈強みは顧客サービスの充実〉

当社は「メーカーとお客様を繋ぐ」のが主な仕事であり、製造業のように商品自体に付加価値を付けるということは困難です。また、インターネットが当たり前の時代となった今や、いつでも、どこからでもお客様は商品を手に入れることができます。そうであれば、どの部分に独自性を持たせるのか。当社では、“提案力”と“アフターサービスの充実”に重きを置くこととし、お客様に選んでいただける企業になるよう、日々、精進しています。

そこで大切にしたいのが“お客様からの声”です。お褒めの言葉は当然嬉しいものですが、一方で、厳しいご意見ほど我々にとってありがたいものではありません。「言われるうちが花」という言葉もありますが、何も言われなくなってしまえばおしまいです。営業担当は単なる御用聞きではなく、お客様との信頼関係を構築しパートナーとして、お客様がご希望される快適なオフィス空間を共に作り上げていきたいと考えています。

また、お客様と長くお付き合いさせていただくために、アフターサービスの充実には欠かせません。当社では、確かな技術力を持つ技術者が多数在籍しており、機器の修理・メンテナンスを自社で行える体制を整えています。即座に、そして臨機応変にご対応させていただきますので、安心して当社にお任せいただければと思います。

そういった中で、昨年開催されたビジネスアスリートオリンピック（コニカミノルタジャパン(株)主催）において、当社従業員が二年連続で全国大会に進出することができました。本大会には、技術部の従業員全員が毎年エントリーすることとしており、日々、スキルアップに努めています。

〈地元和歌山への想い〉

大都市に住んでいたからこそ思うのは、“和歌山は本当に住みやすい街”ということです。大阪や東京は若いからこそ楽しめる場所ではないかな。自然が豊かで大阪にも近い、和歌山って本当にいい場所だと思います。私の妻（総務部在籍）は県外出身ですが、和歌山は果物が美味しく、旬の時期が早くて驚いたと話していました。温暖な和歌山ならではの話ですね。また、和歌山発祥の企業、モノ、人物って意外と多いんです。好奇心旺盛で行動力がある、というのが和歌山人の気質なのかもしれません。

これからもホスピタリティの精神を心に宿し、「貴志さんとここに頼もか！」とお客様から言っていただける企業を目指して精進してまいりますので、引き続き、よろしく願い申し上げます。